2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTI

FUKUYAMA SOUTH ROTARY CLUB



2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー

GOVERNOR: Kaneko Katsuya

「クラブの基盤強化 |

その1-会員増強について-(地区内クラブ紹介第1号)

ガバナーのクラブ公式訪問の旅は、夏に始まり紅葉のシーズンを 迎え稲田の刈り入れの季節に入りました。東海道五十三次に例えれ ば、江戸を遙か離れ、近江国琵琶湖あたり。京の都ちかく、山科の 國を超えれば明日は都入りといったところでしょうか?終わりに近づ くにつれ、既に公式訪問を終了した各クラブでの出来事が次々と思 い出されます。とりわけ話題に上がったのはやはり、次の3点でした。

- 1, 会員増強に関する事
- 2,奉仕活動特にロータリー財団に関するもの
- 3. ロータリーデーに関するもの

これらの事は、ここ数年来RIが掲げている戦略的優先項目その ものであり、各クラブが真剣にこれらのことに取り組んでいる表れ とありがたく思っています。中でも最も発言が多かったのは、会員 増強。当地区の会員数は、ここ数年、下げ止まりから軽度増加に向 かっているようにみられます。これからは、いよいよ各クラブの真 の存在価値が問われる時代に入ることかと思われます。各クラブ は、自クラブの将来像を真剣に考えねばなりません。クラブ存続の ためには、クラブ強化が必須です。

クラブの基盤強化には、1. 良質な会員の増加 2. 有効な奉仕活 動 3. 有益で楽しい例会運営、この3つの柱を太く、強くしなけれ ばなりません。中でも最も会員増強は、喫緊の問題です。大半のク

ラブがこの問題に真剣に取り組まれていました。

ガバナー訪問で得た情報を、会員増強問題解決への手がかりと して頂きたく、「広島中央RCの会員増強成功例」を紹介します。

広島中央RCは、1999年には最大70名の会員でしたが、その後52 名に減少しました。会員増強策として次の作戦が立てられました。

2012年 5月 "GO GO 65作戦"を実施し、会員数65を目標に頑 張った結果、年度内に69名を達成

2013年8月 "クォリティ75作戦"開始、72名を達成

2014年7月 2016年度に80名を目標とし、作戦を継続中

作戦部隊:(1)5人の活動員とアドバイザーからなるチームを作る。 活動員は、若手・中堅の会員を当て、ファーストコンタ クトの敷居を下げる。アドバイザーには豊富な人脈 のある人、コーチングできる人をあてる。チーム内で1 人推薦し、全員でアタック。ダメだったら次の会員が 推薦する。1名以上達成するまで全員で協力継続。

> (2) 同好会中心のチーム編成(必ず会員はどれかのチー ムに属す)女性は「なでしこチーム」、男性は「オーガ スタゴルフチーム」、囲碁同好会チーム、美術愛好 チーム、音楽美声会チーム、リベロチームなど

入会後のフォロー:(1) 例会前にテーブル卓話

- (2) 入会後、情報委員会による勉強会
- (3) ロータリー経験は浅くても、やる気のある人 を理事とし、経験豊富なアドバイザーが付き フォローする

会員増強策はこれ一つではありません。他にも衛星クラブの設立 など直接的に会員増強に結びつく方策もありましょうが、3つの戦 略的優先項目の相乗効果を狙って、優先的戦略項目の推進も当然 非常に重要なことです。これについてはガバナー月信「地区内クラ ブ紹介第2号」で紹介予定です。





CONTENTS	[ガバナー月信12月号]
ガバナーメッセージ	地区大会を振り返って5
家族月間に寄せて2	会員増減・出席率6
ロータリー衛星クラブについて2	新入会員紹介/物故会員への哀悼7
ローターアクト海外研修報告3	文庫通信7
第2回諮問委員会の報告4	2015-16年度地区大会広告8



2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER





家族月間に寄せて

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 パストガバナー 田村 泰三

ロータリーでは、ロータリーの理念を理解するためにいるいろな角度から深く考えるように仕組んであるようです。12月の家族月間では家族についてよく考え、そして実行する機会を作っています。このたび家族月間に寄せて原稿を依頼されたので、私の考えを述べて皆様のご批判をいただきたいと思います。

誰にとっても家族は大切であることは良く分かっています。しかし、私たちの行動を振り返ってみると問題がある点も少なくないと思われます。

家族の起源は他人との出会いから始まります。また血縁のある親子、兄弟であってもそれぞれは別個の人格を持っています。このことを認識することが家族を大切な人として付き合っていく基本になると思います。

家族を大切にするには多様性の理解が必要となります。自分とは別の人格を持つ人と深く付き合うには寛容の精神、忍耐も重要です。多様性の理解は古くからロータリーで言われてきた寛容の精神が基になっていると思います。

家族の人間関係ばかりを大切にするのでは無く、家族 以外の人との調和が保たれていることも重要です。自分 と他の人との調和をはかることがロータリーの目的だと する考え方を問い直すことも必要です。

日本では、核家族化の問題があります。社会環境の成熟、平和状態の持続などの要因が考えられますが、少子 高齢化社会に進む原因にもなっています。家族の重要 さとその人間関係を健全に保つための価値観は、ロータ リーの中核となる価値観と同じであることに気づきます。「亭主元気で留守がいい」という心境に陥ることを

回避することも同様で、ロータリーの目標とされている 考え方に一致していると思います。

ロータリーの家族について語るときにもう一つの家族を忘れてはなりません。それはロータリー家族と呼んでいるロータリーが提唱し育成している青少年や成人のグループです。インターアクト、ローターアクト、社会共同隊(RCC)、RYLA、青少年交換学生およびローテックス、ロータリー奨学生とその卒業生、プロバスクラブ、衛星クラブ、ロータリー平和フェローなどたくさんあります。

その中でここではロータリー平和フェローについて述 べたいと思います。ポールハリスは、二度の世界大戦を 経験して、平和の難しさを痛感しました。そのポール没 後50年を記念して2002年に「ロータリー平和フェロー シップ」というプログラムが創設されました。ポリオに 次ぐ重要なプログラムです。世界の平和研究に優れた6 つの大学にロータリー平和センターを設けました。日本 の国際基督教大学 (ICU) もその1つです。ロータリーが 奨学金を出して、2年間優秀な学生に平和研究に専念さ せ、ロータリアンに代わって世界のために働いてもらお うとするものです。彼らを平和フェローと呼びます。現 在までに世界で619名いますが、日本人は少なく26名で す。その中に私たちの地区から新屋由美子さんがイギリ スのブラッドフォード大学の平和センターを昨年卒業し ました。尾道RCの推薦で、クラブの奨学金学生でした。 現在はスーダンの紛争地で後方支援の業務に従事してお り、本年7月に一時帰国して活動の様子を話してくれま した。このような素晴らしいロータリー家族がいること は地区だけでなくロータリーの誇りです。



ロータリー衛星クラブについて

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 広報委員会委員長 髙垣 邦雄

各クラブ 広報委員会の皆様には 地区広報活動には多 大なご協力をいただき、誠に有難とうございます。私は この半年、金子ガバナーの随行幹事として皆様の各クラ ブを訪問させていただきまして、各クラブ色々な悩み・ 問題点を抱えてご努力をされていることに頭の下がる思いを痛切に感じました。その中で一番大きな問題点は「クラブの会員増強」であると思います。

そこで10月11日(土)広島で行われました 国際ロー

タリー第3ゾーン「ロータリー戦略計画推進セミナー」の会議の中で「あなたのクラブの中に衛星クラブを作られたらどうですか」とのお話があり衛星クラブとは何だろう?……と疑問に思いここで衛星クラブについて調べたことをご報告させていただきます。

衛星クラブは新クラブとかEクラブとは次元の違うクラブであることをまずもってご認識願います。2013年度ロータリー手続要覧の4ページに「ロータリー衛星クラブ」(Rotary Satellite Clubs)が有り、ロータリー衛星クラブは、いわば「クラブの中にあるクラブ」である。衛星クラブの会員は、その親クラブの会員でもある。衛星クラブは親クラブとは別に例会を開くが、通常のロータリークラブの規則に則って運営されなければならない。本要覧で言及されるロータリークラブには、特記されない限り、ロータリー衛星クラブも含まれる。と記載されています。現実にロータリー衛星クラブを作られた、東京多摩ロータリークラブ会員委員会副委員長篠塚武雄さんがまとめられた「衛星クラブ |をご紹介します。

- 1)親クラブが理事会で衛星クラブの設立を承認する。
- 2)親クラブは衛星クラブの年会費・例会日時・例会場所等を決定し会員を集める。
- 3)少人数時は親クラブがお世話をするが、8名以上になったら議長・幹事を決定。

衛星クラブ申請書を作成、RI日本事務局に提出し、 RI本部に申請・認可される。

設立会員の登録(すべての登録会員は親クラブの会員となる)

- 4)約15日後 認可の通知がRI本部よりRI日本事務局に 届き、親クラブに認可
- 5)親クラブの会員は衛星クラブの会員に成ることも可能であり二重会員となる。

(RIにおいては会員増強であり、親クラブの会員として既存会員とともに登録され、会員ID番号もつく)

- 6) RI・地区・グループではあくまで親クラブの既存クラブであるため、衛星クラブは承認クラブとしてはカウントされていない。あくまで親クラブの中のクラブという認識。
- 7)PETSへの出席義務はない。衛星クラブはすべてにおいて親クラブの元で育てることになり、その責務は申請書に記載されている。(申請書はRI日本事務局へ)

以上文章では大変難しい文になりましたが貴方の会社(クラブ)が支店(衛星クラブ)を出した時の管理・運営は貴方の会社(クラブ)が行ない、そこの従業員(会員)は貴方の会社の社員なのですから、他社から「貴社の社員は何名ですか」と尋ねられたら本社と支社の社員を合せた人数を言われるのと同じで、親クラブが衛星クラブを作った場合の会員数は親クラブの会員数となります。蛇足ではありますが、上記東京多摩ロータリークラブの会員は21名、東京多摩衛星クラブの会員は現在18名で今のところ20名以上になっても独立することはなく、東京多摩ロータリークラブの地区登録会員数は39名だそうです。衛星クラブを作って会員数が倍近くになったそうです。現状にこまねいていても会員は増えません。まずは行動に移してください。



ローターアクト海外研修報告

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 ローターアクト代表 高橋 裕昭

2014年11月1日(土)~3日(祝)に2泊3日、台湾の第3480地区で海外研修を行いました。ローターアクトクラブは18歳~30歳まで所属することができ、現在6クラブ・70名で活動しています。今回は、ロータリアン4名・ローターアクト21名の総勢25名で海外研修に参加しました。第3480地区とは密な関係があり、2年前にも台湾で海外研修を行いました。その際に、台北東海RACとの交流を通じて、第3480地区と第2710地区の密な交流も始まりました。2013年4月には台北東海RACが広島を訪問し、原爆ドーム、平和公園、宮島といった観光名所を回り、それぞれの国の文化の違いを認識しました。そのような背景から、今年度の海外研修は台湾の第3480地区で実施致しました。

1日目は台湾の観光名所である総督府の見学を行いました。総督府は1894年の日清戦争後の下関条約(日清講和条約)により、日本政府が台湾を統治する際に



建立した建築物です。訪問日が偶然にも、1か月に1度の公開日となっており、総督府内の見学をすることができました。一部は資料館にもなっており、台湾の歴史、日本との関わりが展示されており、改めて台湾と日本の親密な関係を知ることができました。その後、世界の錦帯橋第1位である大湖公園にある錦帯橋の見学を行い、式

2 | GOVERNOR'S MONTHLY LETTER Vol.6 ガバナー月信 2014年 12月号 | 3



2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



典・懇親会へと移動しました。

式典では、今回も熱烈な歓迎を受けました。両地区ローターアクト委員長、ローターアクト代表による挨拶、バ

ナー交換、お土産の交換 等、時間が足りなくなる ほどの歓迎を受けました。 その後、懇親会へ移りま したが、第3480地区、第 2710地区でそれぞれ交流



を行うことができ、有意義な会となりました。ローター アクトはその後も懇親を深め、再会を約束して、1日目が 終了しました。

2日目は台湾の中央部に位置する台中と、映画の舞台 にもなった九份を訪問しました。

台中へは台湾の新幹線で移動をしましたが、日本の技 術や欧州の機械を使用した台湾独自の新幹線でしたが、

内装は日本の新幹線と全 く同じで、日本にいるか のような感覚でした。

台中では、布袋様で有名 な宝覚寺へ訪問しました。 その大きさには皆圧倒さ



れ、ここでも日本との関わりをお聞きし、台湾中に日本 との親交があることを確認できました。昼食は、最近台 湾でブームとなっている健康食とお茶を頂きました。健 康食は低脂肪・高タンパクな料理で、日本人の口に合う 味となっていました。その後、タピオカミルクティーの 発祥店である春水堂へ行き、本場の味を堪能しました。

夜は台中から台北まで新幹線で移動し、そこからバス

でジブリ映画の「千と千尋の神隠し」の舞台となった九份へと移動しました。あいにくの天候でしたが、映画の舞台となったノスタルジックな雰囲気は、異国の地であることを再認識させられました。その後、台北101展望台や夜市など、台湾の有名地へグループ毎で行動しましたが、そこでも第3480地区のローターアクターと合流することができ、夜遅くまで懇親を深めることができました。また、台湾に在住している日本人の方とも交流し、日本での再会を約束しました。

最終日となる3日目は、故宮博物館を見学しました。 有名な白菜の彫刻や豚の角煮も展示されていましたが、 赤珊瑚から作られた彫刻は見るものを圧倒し、中国大陸 の宝物の豊富さにも驚かされました。

この3日間を通じて、台湾の文化、台北や台中独特の雰囲気や伝統も知ることもできました。何よりも、第3480地区の皆様と交流をし、自国の文化や風習を伝え合うことで、お互いの事を理解できたのではないかと思います。今後もローターアクト活動に尽力し、第2710地区から世界へ向けて情報を発信できるよう、日々取り組んでいきたいです。





第2回諮問委員会の報告

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 髙橋 寛登

去る10月18日(土)、福山ニューキャッスルホテルにおきまして、松本卓臣元RI理事パストガバナーを始め、16名のパストガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、3人の代表幹事、3人の会計長出席のもとに、本年度第2回諮問委員会が開催されました。

- I、沖田哲義パストガバナーより、2013-14年度地区会計報告、クラブ別米山記念奨学会寄付状況報告、クラブ別ロータリー財団寄付状況報告、東日本大震災復興支援についての報告、「ロータリー希望の風奨学金」への地区別支援金累計の報告がありました。
- Ⅱ、金子ガバナーより、

- 1.地区大会について
- 1) RI会長代理朱秋龍様がお越しになったこと、 2)地区大会プログラムの説明、3)地区大会各種 委員会が、10月18日(土)13:00から開催され たこと、の説明
- 2. 地区活動並びに概況報告につきましては、1) 公式訪問の進捗状況の報告、2)会員の動向、3) RCC、RYLA、RAC、IAC、青少年交換などを内容とする地区奉仕プロジェクト委員会の報告、4) ロータリー財団委員会の寄付状況と新地区補助金分配状況の報告、5) 米山記念奨学会の寄付

状況と米山奨学生の研修旅行の報告、6)本年度のグループ別IMの開催日と開催場所の説明

3. 広島豪雨災害支援について

広島市豪雨災害支援委員会を設置し、地区内クラブへの義捐金の呼びかけ、他地区からの義捐金の受け入れと礼状の発送、広島市、安佐北区、安佐南区の社会福祉協議会と連絡をとりながら支援を進めていること、などの報告がありました。

Ⅲ、東ガバナーエレクトより

国際ロータリー第2710地区 2015-16年度ガバナー 補佐予定者の発表と、国際ロータリー第2710地区 2015-16年度地区担当者名簿が発表されました。

なお、第1回諮問委員会で提案がありました、広島県と 山口県から、ガバナーを交互に選出することの見直しにつ きましては、従前どおり交互に選出することとなりました。 以上で報告を終ります。



地区大会を振り返って

2014-15年度 国際ロータリー第2710地区 地区大会実行委員長 多田 暁

2014-15年度国際ロータリー第2710地区の地区大会は 10月17日(金)・18日(土)・19日(日)の3日間、福山市 内で開催されました。

17日(金)の記念ゴルフ大会は、透き通るような青空に恵まれ、参加者162名は、名門、松永カントリークラブでゴルフを存分に楽しむことができました。

18日(土)福山ニューキャッスルホテルにて、午前中は大会諸委員会、午後は会長・幹事会、台湾よりRI会長代理の朱秋龍氏をお迎えしまして、基調講演「ロータリーを輝かせるためには」と云うテーマの約1時間の講演がありました。

"RI会長のC. K.ホァン会長が定めた今年度のスローガンは LIGHT UP ROTARY 「ロータリーに輝きを」であります。又会員数を130万人と云う目標を達成する事によって、ロータリーを輝かせて下さい。そして、新しいアプローチとアイデアを持って会員増強に取り組んで下さい。青少年交換の元参加者や財団学友にも声を掛けて下さい。全世界人類への奉仕は私達ロータリアンの義務です。「奉仕を学びロータリーを楽しもう」と云う金子ガバナーの信条の下に地区活動の運営に臨んで下さい"とおっしゃいました。

その後、RI会長代理御夫妻歓迎晩餐会、引き続き、日韓交流パーティー等もあり、第2日目終了。

3日目、本会議は、ふくやま芸術文化ホール リーデンローズにて本会議、午前の部開催。台湾・日本・インドネシア・韓国の国歌斉唱で始まり、来賓紹介。会員紹介は、今年度初めて、ガバナー補佐を先頭に、担当グループの会長がクラブバナーを振りながら入場し、会場を沸かせました。来賓挨拶、RI会長代理 朱秋龍氏によるRI現況報告、大会決議採択、記念事業の発表、青少年交換学生、米山奨学生、ローターアクト、インターアクト等の紹介

があり、午前の部終了。

昼食後、本会議国際アワーではインドネシア・韓国・ 台湾・南米ボリビアとの長年にわたる国際交流の成果発 表と文化芸能の紹介がありました。国際奉仕活動の楽し さを味わい、さらなる活動へのモチベーションを高める こともできました。

記念講演では、司葉子氏が「私とロータリー」と云う演題でお話をされました。初めに女優としての活動や当時のビデオの映写もあり、楽しい時間を過ごす事が出来ました。大会に華を添えていただきました。

地区大会の記念事業としましては、福山市に防犯ビデオカメラ5台を寄贈しました。これは、福山市が提唱されています「暮らしの安心、安全」の標語の下、犯罪発生の抑止を支援し、ロータリーの認知度向上にも大いに役立つものと期待されます。

最後は、朱RI会長代理による講評、宇部西RCからの次年度地区大会の案内、大会副実行委員長、福山RC寺田豊氏による閉会の辞で、点鐘。

懇親会は会場を福山ニューキャッスルホテルに移動して、18時開宴、登録者数1800余名の多数で、移動に色々 苦心しましたが、何とかスムーズに運びました。

直前ガバナー沖田哲義氏の乾杯で始まり、福山ジャズクインテッドの演奏があり、コホストクラブ鞆の浦RC会長縄稚和典氏による閉宴の辞があり、ロータリーソング「手に手つないで」を斉唱、ガバナーエレクト東良輝氏のリードによる万歳三唱で地区大会3日間の行事を全て大過なく終了しました。

ご登録いただいたすべてのロータリアンと準備から本番まで陰で支えてくださったスタッフの皆さんに深く感謝いたしまして、地区大会報告とします。

4 | GOVERNOR'S MONTHLY LETTER Vol.6 ガバナー月信 2014年 12月号 | 5



2014-15 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2710地区 2014-15年度 74RCの会員増減・出席率

2014年 10月度

		(%) 出席率 (%)			♦ 昌₩						
グ ル I クラブ名		וילו		⊭ (%) I	会員数						
ヿ゚ プ	クラブ名	1 1	当月	平均	年度初 (7/1)			本年			
	E 88		04.00	04.55				入会者	退会者	増減	
								0	0	0	
グ		大名 会数 当月 平均 平均 平均 末日 内女性 入が 大子 八子 八子 八子 八子 八子 八子 八子	1	1	0						
ル								0	0	0	
プ								7	0	7	
1							-	1	1	0	
								3	0	3	
		5						1	2	-1	
		_					-	13	4	9	
								0	0	0	
Ä								2	1	1	
ル								2	2	0	
		-						0	0	0	
2								1	0	1	
	•							0	0	0	
	•	4						1	0	1	
								6	3	3	
								4	0	4	
グ								0	0	0	
1								1	0	1	
								4	0	4	
								1	0	1	
		5						0	0	0	
							-	10	0	10	
Ä								1	0	1	
長門494.23 91.55 29 下関中央492.59 87.73 28 下関東587.71 84.06 47 下関北3 91.03 92.27 41 下関加 583.16 85.53 35 油谷湾5 98.18 97.77 11 計 88.46 88.25 238			3	0	3						
プ								4	0	4	
4								1	0	1	
		5						2	3	-1	
						229	7	11	3	8	
Ä						65	0	4	0	4	
ル						40	3	3	1	2	
プ						54	3	0	1	-1	
5						34	2	0	0	0	
		5				28	2	0	0	0	
						221	10	7	2	5	
						122	0	12	4	8	
727						39	2	0	0	0	
クル						21	1	2	0	2	
	広島東	4	98.92	99.08	89	97	4	8	0	8	
6		4				85	0	5	1	4	
	広島陵北	4			55	55	3	1	1	0	
		4			31	32	0	1	0	1	
	計		97.77	97.3	428	451	10	29	6	23	

	, , , · H	<i>(1</i>):	~ 1	1 MJ -	_		20	/14 -4	. 107	J 15C	
ΙÏ		例 出席率 (%)			会員			員数			
グルー	クラブ名	会			年度初	当	月	7	本年度		
プ		数	当月	平均	(7/1)	末日	内女性	入会者	退会者	増減	
グループ	広島中央	3	100	100	72	74	8	2	0	2	
	広島廿日市	3	88.6	87.23	37	38	1	1	0	1	
	広島城南	4	98.69	98.36	57	57	3	0	0	0	
	広島南	4	99.7	99.7	88	91	0	4	1	3	
7	広島東南	3	100	100	86	91	11	5	0	5	
	広島西南	3	100	100	62	62	4	0	0	0	
	広島西	4	100	100	75	76	0	2	1	1	
	計		98.14	97.9	477	489	27	14	2	12	
	江田島	5	95.56	94.47	19	19	0	0	0	0	
	東広島	4	99.17	99.39	31	30	2	0	1	-1	
グル	東広島21	3	83.33	79.15	18	16	3	0	2	-2	
Ĭ,	믔	5	90.27	90.82	68	75	1	7	0	7	
ブ 8	呉 東	4	93.68	95.61	28	30	0	2	0	2	
	呉 南	4	92.5	90.14	56	55	3	1	2	-1	
	西 条	5	100	100	39	40	1	1	0	1	
	計		93.5	92.8	259	265	10	11	5	6	
グルー	広島空港	5	88.57	87.92	22	22	3	0	0	0	
	因 島	5	83.85	89.18	26	26	1	0	0	0	
	三 原	4	93.23	93.51	64	65	2	1	0	1	
	尾 道	5	83.24	84.29	71	75	3	5	1	4	
プ 9	尾道東	4	90.24	88.38	51	51	0	0	0	0	
	瀬戸田	4	85.7	85.7	7	7	0	0	0	0	
	竹 原	4	86.49	87.84	36	37	4	1	0	1	
	計		87.33	88.12	277	283	13	7	1	6	
	府 中	3	88.89	84.51	32	32	0	1	1	0	
グ	福山	83	98.68	96.88	83	84	0	2	1	1	
ル	福山東	5	93.8	93.42	50	51	3	1	0	1	
プ	福山丸之内	3	97.98	97.86	33	33	1	0	0	0	
10	鞆の浦	4	89.58	85.26	23	24	0	1	0	1	
	福山REC2710	3	97.44	97.2	26	26	4	0	0	0	
	計		94.39	92.52	247	250	8	5	2	3	
	福山赤坂	3	82.05	78.7	43	43	4	2	2	0	
グル プ 11	福山北	5	87.45	88.39	48	49	0	1	0	1	
	福山南	4	91.23	84.22	60	60	2	2	2	0	
	福山西	4	93.61	95	44	43	3	0	1	-1	
	松 永	3	91.84	91.15	49	49	2	0	0	0	
	計		89.24	87.49	244	244	11	5	5	0	
グループ 12	吉 舎	4	98.53	98.9	17	17	0	0	0	0	
	三 次	5	85.06	82.31	39	39	0	1	1	0	
	三次中央	3	91.61	92.43	44	44	5	1	1	0	
	庄 原	4	88.34	91.36	33	34	4	1	0	1	
	東 城	5	97	94.23	19	20	1	1	0	1	
	計		92.11	91.85	152	154	10	4	2	2	
第2710地区計			91.88	91.46	3243	3330	144	122	35	87	

新入会員紹介



西尾 聡 下関RC 2014年11月10日 百貨店



小見山 剛英 萩東RC 2014年10月7日 獣医師



河野 正幸 徳山RC 2014年10月2日 合成繊維原料製造



 神野 博义

 広島RC

 2014年10月14日 2

 特殊銀行 3



半田 徹 広島東RC 2014年10月1日 耳鼻咽喉科医

岩国中央RC



太島北RC 2014年10月16日 生命保険



奥道 恒夫 広島東南RC 2014年10月27日 外科医



以下資料のご紹介を致します。

杉山 顕彦 新 広島東南RC 2014年10月27日 衛生管理業



新入会員氏名 所属RC 入会日 職業分類



謹んで追悼の意を表します

故**油屋 正章** 殿 2014年10月22日ご逝去 (享年66歳)

■ロータリー歴 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 2007-08年 ロータリー財団委員長

■職業分類 割烹旅館

文庫 通信 326号 「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

■地区大会講演より

人生は感動を求める旅 -より多くの友を持とう	市川伊三夫	2014 9p	(D.2530地区大会記念誌)
政局を語る	飯島 勲	2014 11p	(D.2520地区大会レポート)
やっと見え始めた国家の再生	中西 輝政	2014 16p	(D.2670地区大会記録)
世界の出来事、日本の出来事 〜当事者意識で見方が変わる	黒井文太郎	2014 11p	(D.2530地区大会記念誌)
ミッション・パッション・ビジョン	大迫 三郎	2014 2p	(D.2730地区大会記録誌)
未来に輝くサイエンス	藤嶋 昭	2014 11p	(D.2590地区大会の記録)
奉仕は我が人生	渡邉 美樹	2014 8p	(D.2550地区大会記念誌)
日本とミクロネシア連邦の関係	ジョン フリッツ	2014 4p	(D.2780地区大会報告)
ロータリー、この素晴らしき世界	関場 慶博	2014 10p	(D.2550地区大会記念誌)
ロータリーを実践しよう	杉谷 卓紀	2014 6p	(D.2780地区大会報告書)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL:(03)3433-6456 FAX:(03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館:午前10時~午後5時 休館:土・日・祝祭日

国際ロータリー 第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町 I-5 ホテルグランヴィア広島 6F TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:http://ri2710.com/

6 | GOVERNOR'S MONTHLY LETTER Vol.6 ガバナー月信 2014年 12月号 | 7



